



作成日 2013/04/22
改訂日 2018/04/01

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 U-プライマーEP主剤(GHS)
 製品コード CE-F01-1117
 供給者の会社名称 宇部興産建材株式会社
 住所 東京都港区芝浦1-2-1 シーバンスN館
 電話番号 03-5419-6206
 FAX番号 03-5419-6265

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康有害性 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 区分2
 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 区分2
 皮膚感作性 区分1
 環境有害性 水生環境有害性(急性) 区分2
 水生環境有害性(長期間) 区分2
 上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険有害性情報

警告
 H315 皮膚刺激
 H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
 H319 強い眼刺激
 H411 長期継続的影響によって水生生物に毒性

注意書き 予防策

粉塵／ヒューム／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。(P260)
 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。(P280)

対応

皮膚又は髪に付着した場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ又は取り除くこと。皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。(P303+P361+P353)
 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)

廃棄

漏出物は回収すること。(P391)
 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
ビスフェノールAエポキシ樹脂	70～80%	不明	(7)-1283	公表	25068-38-6

4. 応急措置 吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚に付着した場合	呼吸に関する症状が出た場合は、医師に連絡すること。
眼に入った場合	皮膚にかかった場合:直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ捨て流水/シャワーで洗う。
飲み込んだ場合	刺激が続くようであれば、医師の診療を受けること。
5. 火災時の措置 消火剤	水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
6. 漏出時の措置 人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置	眼の刺激が持続する場合、医師の診断、手当てを受けること。
環境に対する注意事項	口をすすぐこと。
二次災害の防止策	気分が悪い時は、医師に連絡すること。
7. 取扱い及び保管上の注意 取扱い	泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂 周辺火災に応じて適切な消火剤を用いる。
技術的対策	作業者は適切な保護具(『8. 暴露防止措置及び保護措置』の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
安全取扱注意事項	風上から作業し、風下の人を退避させる。
衛生対策	漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。
保管	漏洩物を回収する。
安全な保管条件	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
安全な容器包装材	粉塵/ヒューム/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入してはならない。
8. ばく露防止及び保護措置 保護具	熱源/花火/炎/加熱面から遠ざける。禁煙。
呼吸器の保護具	換気の良い場所で取り扱うこと。
手の保護具	取扱い後は、うがい、洗眼、手洗いを励行する。
眼の保護具	取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
皮膚及び身体の保護具	汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合は洗濯する。
9. 物理的及び化学的性質 外観	容器を密閉して保管すること。 冷所に保管し、日光を遮断すること。
物理的状態	情報なし
形状	呼吸器保護具を着用すること。
	保護手袋 保護眼鏡 保護服、保護長靴等
	その他 ペースト

	色	乳白色
臭い		特異臭
臭いのしきい(閾)値		データなし
pH		データなし
融点・凝固点		データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲		データなし
引火点		データなし
蒸発速度		データなし
燃焼性(固体、気体)		データなし
燃焼又は爆発範囲	下限	データなし
	上限	データなし
蒸気圧		データなし
蒸気密度		データなし
比重(密度)		データなし
溶解度		水に対する溶解度:不溶
n-オクタノール/水分配		データなし
係数		
自然発火温度		データなし
分解温度		データなし
粘度(粘性率)		30000(23°C)
動粘性率		データなし
10. 安定性及び反応性		
反応性		情報なし
化学的安定性		常温、常圧で安定
危険有害反応可能性		データなし
避けるべき条件		データなし
混触危険物質		強酸、強塩基
危険有害な分解生成物		データなし
11. 有害性情報		
ビスフェノールAエポキシ樹脂として		
急性毒性(経口)		ラットLD50=11,400 mg/kg
皮膚腐食性及び皮膚刺激性		ウサギ:中等度の刺激性
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性		ウサギ:中等度の刺激性
呼吸器感作性		EU GHS分類:Skin Sens.1, DSD分類:R43
皮膚感作性		EU GHS分類:Skin Sens.1, DSD分類:R43
生殖細胞変異原性		経世代変異原性試験(優性致死試験):陰性 生殖細胞in vivo変異原性試験(染色体異常試験):陰性 体細胞in vivo変異原性試験(小核試験、染色体異常試験):陰性
生殖毒性		生殖毒性試験、催奇形性試験のいずれにおいても、親動物へ毒性がみられる用量で生殖及び発生への影響はみられていない。
12. 環境影響情報		
ビスフェノールAエポキシ樹脂として		
水生環境有害性(長期間)		EU GHS分類:Aquatic Chronic 2, DSD分類:N; R51-53

13. 廃棄上の注意
 残余廃棄物

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
 廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。
 下水、河川等へ流入することがないように厳重に注意する。

14. 輸送上の注意
 国際規制

海上規制情報	IMOの規定に従う。
UN No.	3082
Proper Shipping Name	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N.O.S.
Class	9
Packing Group	III
Marine Pollutant	Applicable
Transport in bulk according to MARPOL 73/78, Annex II, and the IBC code	Not applicable

国内規制

航空規制情報	ICAO/IATAの規定に従う。
UN No.	3082
Proper Shipping Name	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N.O.S.
Class	9
Packing Group	III
陸上規制	該当しない
海上規制情報	船舶安全法の規定に従う。
国連番号	3082
品名	環境有害物質(液体)
国連分類	9
容器等級	III
海洋汚染物質	該当
MARPOL 73/78 附属書II 及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質	非該当
航空規制情報	非危険物
国連番号	3082
品名	環境有害物質(液体)
国連分類	9
等級	III

特別の安全対策

転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

緊急時応急措置指針番

171

15. 適用法令

化審法
 労働安全衛生法

優先評価化学物質(法第2条第5項)
 変異原性が認められた既存化学物質(法第57条の5、労働基準局長通達)

消防法
 海洋汚染防止法

第4類 第三石油類(非水溶性)
 有害液体物質(X類物質)(施行令別表第1)

外国為替及び外国貿易法
船舶安全法
航空法

特定有害廃棄物輸出入
規制法(バーゼル法)
労働基準法

輸出貿易管理令別表第1の16の項
有害性物質(危規則第3条危険物告示別表第1)
その他の有害物質(施行規則第194条危険物告示別表第1)
廃棄物の有害成分・法第2条第1項第1号イに規定するもの(平10三省告示1号)
疾病化学物質(法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第4号1)
感作性を有するもの(法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第4号、平8労基局長通達、基発第182号)

16. その他の情報
記載内容の取扱い

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載データや評価に関しては、いかなる保証もなすものではありません。また、注意事項は通常取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。